

中国語学専攻

Chinese Studies



本専攻では学部で培った知識を基とし、語学または文学・文化の側面から研究を行います。語学研究では、いわゆる古典以外のもので研究対象とするよう指導しており、具体的には、唐宋代以後の白話及び現代漢語（方言を含む）を対象としています。文学・語学のいずれかを専攻するにしても、自分の専門以外の知識も幅広く身につけ、将来いわゆるSinologistに一步でも近づくことを目指して勉強しています。

Based on the knowledge acquired in the undergraduate course, students conduct research from linguistic or literary-cultural aspects. In their language studies, students are expected to focus on written language after the Tang-Song era in addition to modern Chinese, including dialects as their research subjects rather than the classics. Whichever course is chosen, students are expected to take step toward becoming professional Sinologists.

授業担当専任 スタッフ Academic Staff Profiles (2019年度担当予定 領域別アルファベット順)

任 鷹 (にん よう) Ying REN
●教授/Professor

現代中国語文法を研究している。とりわけシンタックス及び意味論の研究が中心である。

Research interest includes syntax, semantics, and the studies of writing



下地 早智子 (しもじ さちこ) Sachiko SHIMOJI
●教授/Professor

印欧語がセンテンス指向型の言語であるのに対して、日本語や中国語は談話指向型、語用論指向型の言語であるといわれることがあります。ともに談話指向型であり、漢字を有することなどから、日本人にとって中国語は極めて親しみやすい言語であると言えます。しかし、そんな中国語にも日本語からは考えられないような文法現象が多く存在するようです。何が異なるのか、なぜ異なるのかを考えることが私の課題です。

Chinese Linguistics. Contrastive analysis of contemporary Mandarin Chinese and Japanese with emphasis on grammar and semantics.

修士課程 中国語学専攻

Master's Program / Chinese Studies

竹越 孝 (たけこし たかし) Takashi TAKEKOSHI
●教授/Professor

中国語歴史文法を研究している。特に元・明・清代における中国語北方方言の変遷過程をアルタイ諸語との接触という観点から分析し直すことを主眼として、中国語とモンゴル語、満州語、朝鮮語などとの対音・対訳資料を用いた研究を行っている。

Chinese historical grammar, specially based on materials outside of China in Yuan, Ming and Qing dynasty.

秦 兆雄 (しん ちようゆう) Zhaoxiong QIN
●教授/Professor

中国社会・文化の理解にとって極めて重要な柱である家族・親族・婚姻・死生観について、その実態と理念及び現代的な諸変化を、実地調査に基づいて実証的に解明しようとしている。また、日本との比較の視点から、今後の中国社会秩序の変動や再構築などを考える上で、宗教や民族などの諸問題がいかに重要な要素になるかに注目しつつ、都市化やグローバル化などの変動過程において、家族・親族関係がどのように社会保障制度として機能し、文化資源として活用されるのか、都市と農村の格差とそれに起因する人口移動や計画出産問題と関連する少子高齢化問題がいかに重要な要素になるのか、などについても論じている。

My main research, which is based upon fieldwork, compares the Chinese and Japanese systems and cultures of marriage, family, and religion.

紺野 達也 (こんの たつや) Tatsuya KONNO
●准教授/Associate Professor

唐宋期の詩文、特に盛唐期の王維の詩歌とその受容を研究することにより、「園林」(荘園・庭園)を中心に地域・風土・風景と文学との関係を考えています。また、広く東アジアにおける漢文学、漢文資料の流通といった問題にも関心を持っています。

Chinese Classical Literature, especially poetry and prose in Tang and Song dynasty



櫻井 次郎 (さくらい じろう) Jiro SAKURAI
●准教授/Associate Professor

中国の環境問題および持続可能な発展について法的・政治的視点から考察している。現在の中国では、経済成長と社会的安定を最優先する国家運営の在り方が環境政策に限界を与え、環境公害を深刻化させている。この環境問題の解決の道筋・方策を、中国の研究者や実務家らとともに探っていくと意欲している。

Chinese Environmental Law, Environmental Policy, Sustainable Development.

津守 陽 (つもり あき) Aki TSUMORI
●准教授/Associate Professor

中国近現代文学、特に沈從文を中心に、(郷土)概念の形成と、それをめぐる文学表象について研究している。一種の共同幻想としての「ふるさと」「いなか」イメージは、近代中国だけではなく、日本を含む世界各国で様々な変異しながら盛んに生み出され、今も我々の世界観に影響を与えている。その(郷土)をつづることばのあり方について、関連する近現代の思想潮流と絡めながら研究している。

Modern Chinese Literature, Literary Representations of the Native Place, Shen Congwen

最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

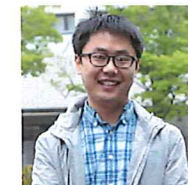
- ・中国語諸方言における入声韻尾消失現象に関する考察
- ・現代中国語における述詞性の目的語をとる動詞類に関する研究
- ・日中両言語における受身表現の形式と機能について
- ・日本語と中国語における二重否定表現に関する対照研究
- ・「新集藏経音義兩録」における重紐の対立について
- ・“给我”の文法化と「てくれる」構文に関する中日対照
- ・汉语口语中的两种可変序结构研究
- ・待遇の観点から見た使役文の日中対照研究

院生紹介

Message from a Student

—なぜ修士課程に進学しようと思いましたか？
大学時代に日本語を勉強しましたが、日本での中国語教育について興味を持つようになり、留学を考えました。専門知識をより深く身につけるため、大学院の修士課程への進学を決定し、入学試験に合格できるように日本語能力を高める準備をしました。
—神戸市外国語大学の修士課程を選んだ理由を教えてください。
私は中国語教育について学びたかったので、外国語教育を重点的に学べる外国語大学に進学しようと考えました。神戸市外大は外国語大学の中でも特に有名と聞き本学への進学を志しました。また、私の指導教員である下地先生の論文を読み、先生の専門性の高さに感銘を受けたこと、自分の研究テーマと近いと感じたため本専攻を選びました。

—入学する前と後で大学院に対するイメージはどのように変わりましたか？
入学前は、修士課程の授業は自分には難しいかと懸念していましたが、先生方が優しく熱心に指導してくださるので、今は日々の学びが面白く感じています。
—どのような学生生活を送っていますか？
1年生のときは週に6コマの授業を受け、色々な知識を習得しました。授業以外の時間は研究室で論文や本を読んで過ごしました。また、国際交流イベントなどの活動に参加することで様々な人との出会いも経験しています。



朱 国鑫(2年)
ZHU Guo Xin